

予算と事業

◆ 一般会計当初予算は、

84億3,512万4,000円を計上

◆ 震災ごみの廃棄物処理事業など

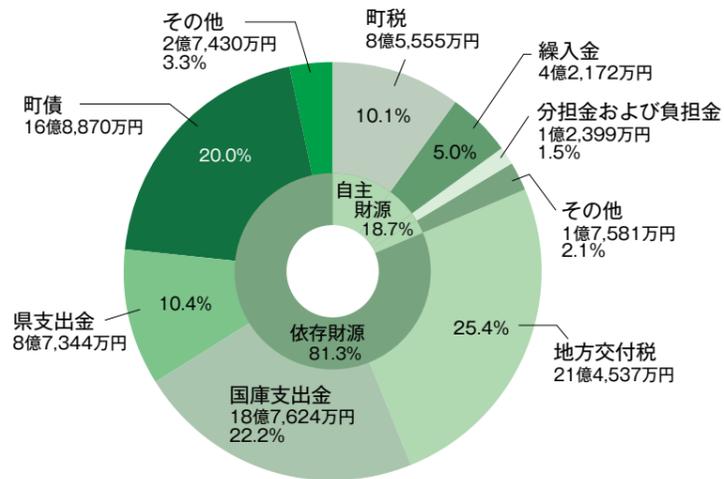
震災関連費の減で全体では23・0割の減額

本町の平成30年度当初予算が、町議会3月定例会で成立しました。今年度の一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ84億3,512万4,000円となり、震災ごみの廃棄物処理事業の減などにより、前年度対比で23・0割の減額となりました。

歳出面については、熊本地震や豪雨災害にかかる災害復旧事業として、町道などの復旧、液状化した地区の再発防止、熊本地震復興基金交付金を活用した地域コミュニティ施設などの復旧などに係る経費を約9億8,000万円盛り込むほか、復興事業として、子育て支援住宅整備などを予定しています。

町税について約7,580万円の増収を見込んでいますが、震災関連事業に係る国庫支出金および地方債が大幅に減額になっているほか地方交付税について約3,200万円の減収を見込んでいます。平成30年度は町震災復興計画において、復旧の最終年度であり復興の中間期であることから、復興・復興に係る経費について総額を確保しましたが、それ以外の経常経費については徹底した削減を図りました。しかしながら、不足する財源を補うため、財政調整基金(町の貯金)を取り崩すことで予算編成を行いました。主な事業は、子育て支援住宅整備事業、安津橋総合運動公園整備事業、災害復旧事業などです。

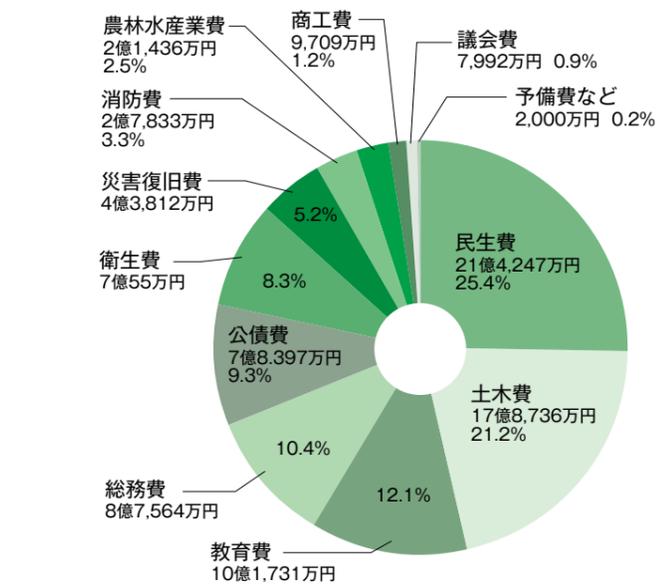
一般会計歳入総額
84億3,512万円



歳入

【歳入項目の説明】

- 《自主財源》
- 町税 町民の皆さんに納めてもらった町民税や、会社の法人税など
 - 線入金 積み立てておいた基金(預金)を取り崩して受け入れたもの
 - 分担金および負担金 町が行う特定の事業によって利益を受ける人から徴収されるもの
 - その他 町の施設の使用料や証明書の発行手数料、預金利子や前年からの繰越金など
- 《依存財源》
- 地方交付税 どの市町村でも、ある一定の住民サービスができるように、それぞれの市町村の実情に応じて国から交付されるもの
 - 国庫支出金 事業を行うための国からの負担金や補助金
 - 町債 道路や小・中学校などの社会資本を整備するための借金
 - 県支出金 事業を行うための県からの負担金や補助金
 - その他 国から配分される地方譲与税やゴルフ場利用税などの各種交付金



一般会計歳出総額

84億3,512万円

歳出

【歳出項目の説明】

- 民生費 高齢者福祉、児童福祉、または障がい者福祉など、町が行う福祉事業全般にかかる経費
- 土木費 町道、河川維持や整備にかかる経費
- 教育費 小・中学校の義務教育にかかる経費や、公民館活動・保健体育活動などの社会教育にかかる経費
- 総務費 町全体の運営に関する経費や、財産の管理にかかる経費
- 公債費 町の借金である町債を返済するための経費
- 衛生費 町民の健康のための経費や、ごみ、し尿などの処理にかかる経費
- 災害復旧費 地震などの災害の復旧のための経費など
- 消防費 消防組合・消防団の運営にかかる経費や、防災にかかる経費
- 農林水産業費 農林業振興のための経費や、農道などの維持や整備にかかる経費
- 商工費 商工業振興や観光対策にかかる経費
- 議会費 町議会の開催や運営にかかる経費
- 予備費など

◆ 平成30年度当初予算一覧

会計	項目	予算額		
一般会計	歳入	84億3,512万4,000円		
	歳出	84億3,512万4,000円		
特別会計	国民健康保険特別会計	15億6,722万7,000円		
	介護保険特別会計	15億2,033万6,000円		
	後期高齢者医療特別会計	1億4,916万5,000円		
	計	32億3,672万8,000円		
	上水道事業	収益的収入および支出	事業収益	1億5,010万7,000円
			事業支出	1億5,010万7,000円
資本的収入および支出		資本的収入	1億972万1,000円	
		資本的支出	1億6,691万7,000円	

平成30年度当初予算の主な事業

衛生費 7億55万円 (8.3%)

- 町民の健康のための経費や、ごみなどの処理にかかる経費
- ・ごみ・し尿処理組合負担金：1億8,661万円
ごみ・し尿の処理のために町が負担する経費
 - ・国民健康保険特別会計繰出金：1億4,757万円
国民健康保険で使われるお金のうち、町が払わなければならない経費
 - ・浄化槽設置整備事業：6,456万円
合併処理浄化槽設置補助にかかる経費
 - ・子ども医療費助成事業：4,357万円
中学3年生までの子どもの医療費無償化にかかる経費
 - ・共同墓地等復旧事業：1,692万円
被災した共同墓地等復旧支援のための経費

災害復旧費 4億3,812万円 (5.2%)

- 熊本地震などの災害によるインフラ整備などの復旧経費
- ・公共土木施設災害復旧事業：2億2,007万円
町道などの災害復旧経費
 - ・林業施設災害復旧事業：1億3,204万円
林道の災害復旧経費

消防費 2億7,833万円 (3.3%)

- 消防組合・消防団の運営や、防災にかかる経費
- ・上益城消防組合負担金：1億6,832万円
同組合の運営にかかる経費のうち町が負担する経費

農林水産業費 2億1,436万円 (2.5%)

- 農林業振興や、農道などの維持や整備にかかる経費
- ・多面的機能支払事業：5,779万円
農地の維持及び農業用施設の長寿命化を支援するための経費
 - ・中山間地域等直接支払事業：1,604万円
中山間地域において農業生産の維持を支援するための経費

商工費 9,709万円 (1.2%)

- 商工業振興や観光対策にかかる経費
- ・観光案内看板等設置事業：2,250万円
やな場などの観光地への案内看板の設置にかかる経費
 - ・ふるさと甲佐応援寄附金運営事業：2,677万円
ふるさと納税に関する返礼品等にかかる経費

議会費 7,992万円 (0.9%)

- 町議会の開催や運営にかかる経費

予備費など 2,000円 (0.2%)

- 予備費など

民生費 21億4,247万円 (25.4%)

- 高齢者福祉、児童福祉、または障がい者福祉など、町が行う福祉事業全般にかかる経費
- ・私立保育所保育の実施費：4億9,966万円
私立保育所運営経費のうち、町が補助する経費
 - ・障がい者支援費等扶助費：4億3,742万円
障がい者の自立・生活支援に使われるお金のうち、町が払う経費
 - ・後期高齢者医療費：2億5,898万円
後期高齢者医療費で使われるお金のうち、町が払わなければならない経費
 - ・介護保険特別会計繰出金：2億2,254万円
介護保険に使われるお金のうち、町が払わなければならない経費
 - ・災害救助費：1億9,566万円
震災に伴う転居費用助成や応援派遣職員などの経費

土木費 17億8,736万円 (21.2%)

- 町道や河川の維持・整備や町営住宅の管理などにかかる経費
- ・町道改良舗装事業：4億840万円
町道の新設、改良・舗装などをするための経費
 - ・住宅建設事業：9億7,811万円
町営住宅および子育て支援住宅などの建設経費
 - ・被災宅地復旧事業：8,000万円
被災した宅地の復旧を支援する経費
 - ・宅地液状化防止事業：7,500万円
液状化した芝原地区の液状化再発防止の経費
 - ・大規模盛土造成地滑動崩落防止事業：5,600万円
崩落した大規模盛土造成地の宅地地盤等復旧ための経費

教育費 10億1,731万円 (12.1%)

- 小・中学校の義務教育や、公民館活動・保健体育活動などの社会教育にかかる経費
- ・安津橋総合運動公園整備事業：5億8,500万円
交流拠点として安津橋健康広場を整備するための経費
 - ・地域コミュニティ施設等再建支援事業：3,944万円
被災した地域コミュニティ施設の復旧支援のための経費
 - ・甲佐高校魅力化事業：1,754万円
甲佐高校の特色ある学校づくりを支援するための経費

総務費 8億7,564万円 (10.4%)

- 町全体の運営や、財産管理などにかかる経費
- ・西村民俗資料館利活用事業：2,764万円
西村民俗資料館の利活用改修などにかかる経費

公債費 7億8,397万円 (9.3%)

- 町の借金である町債を返済するための経費

3月18日(日) 緑川スポーツフェスタinこうさ2018 本町の魅力を生かしたスポーツの祭典

スポーツと自然を楽しむ 春のイベント

3月18日(日) 安津橋健康広場を主会場として、「緑川スポーツフェスタinこうさ2018」が開催されました。同イベントは、スポーツを通して本町の交流人口の増加、町全体の活性化を目的に、甲佐町観光協会(奥名克美会長)が主催。

本町の魅力を楽しむ クイズウォーク

同会場を発着としてチェックポイントを巡り、クイズに答える「こうさんもんクイズウォーク」では、3マイルと5マイルのコースに約400人が参加。麻生原のキンモクセイなどの名所を歩きました。コース途中には、麻生原区、上豊内区、岩下二区の方々がいも天やぜんざいなどのおもてなし。クイズ全問正解者には、特製タオルが贈呈されま

した。また、「グラウンド・ゴルフ大会」では、町内外から腕利きのプレイヤー約100人が参加しました。

ステージやスポーツ 体験コーナーも大賑わい

メインステージは、ヨサコイで開幕。「キッズダンスコンテスト」や甲佐中学校による「フラスバンド演奏」などが行われました。「スポーツ体験コーナー」では、「ポルダリング」「ストライダー」「Eポット」などを実施。熊本ルネサンスとロアソフ熊本によるサッカー体験もあり、楽しくふれあいました。

「グルメゾーン」には、特産品ブランド「こうさんもん」や、町内外の飲食店など38店舗が並びました。イベントの最後には、旅行券や本町の特産品が当たる大抽選会も実施。春の甲佐やスポーツを満喫しました。

